

令和6年度実施 白岡市学童保育所指定管理者モニタリングシート

施設所管課：健康福祉部こども保育課

施設名称	南児童クラブ、南第二児童クラブ、南第三児童クラブ、西児童クラブ、西第二児童クラブ、西第三児童クラブ、東児童クラブ、東第二児童クラブ、菁莪児童クラブ、篠津児童クラブ、篠津第二児童クラブ、篠津第三児童クラブ		
指定管理者	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	選定方法	公募
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	点検日	令和7年3月
施設設置目的	保護者の就労等により、保育を必要とする市内小学校の児童に対し、保護者に代わって生活指導等を行い、児童の健全育成を図ることを目的とする。		
業務内容	・放課後児童健全育成事業の実施に関すること。 ・施設及び設備の維持管理に関すること。		

自己評価および施設所管課評価		
指定管理者	自己評価	・ 毎年の自主事業「親子遠足」は、コロナ禍以来のバス遠足となりました。行先は栃木県の「若竹の杜」と「わんぱく公園」へ行き、「若竹の杜」では竹を使った弓矢の作成を行いました。 - 年々、希望者が増えており参加人数は大人80名子ども88名計168名となりました。親子遠足は、親子、保護者同士、支援員がふれあいを持つことができ、非常に有意義な企画であり、今後も継続して行きたいと考えております。支援員にとりましても施設外での企画立案のため、綿密な計画を立て、候補地の事前調査・安全確認をするなど、事業の楽しさや企画の難しさを経験することができたと感じています。 ・ 弊社の「学童保育事業本部」より、イベントごとに季節に合わせた創作物などが各児童クラブに納品され、余暇活動の一環として活用しました。また、決まった曜日にリモート交流番組の動画を配信し、おやつの時間後に視聴できる取組みも行うなど、子どもに少しでも楽しんで生活してもらえよう工夫しました。 ・ 人員確保については定期的に処遇改善を行い、実績として、平均2%の処遇改善（賃金アップ）を行いました。スキルアップ、資格取得、シフト貢献度、マネジメント力、経験を鑑みて白岡市学童保育所への貢献度を評価としました。また、長期休みなど一時的に人員確保が必要な場合は弊社受託の白岡市や蓮田市の学校給食調理員が保育に関する研修実施後、応援に入りました。 ・ 緊急連絡の一斉同時配信を可能とするハグノートを導入しております。導入前は保護者への電話連絡が必要でしたが、ハグノートを導入したことでスムーズに連絡・伝達ができるようになりました。また出欠席の連絡や、連絡帳としての利用ができるようになり、利便性の向上につながりました。また安全計画に基づいて、保護者の方にも参加いただく避難訓練（模擬訓練）を行い、緊急時のメッセ

		ージはどのように届くかなど、クラブ一体で訓練することができました。 ・おやつ代のキャッシュレスサービスを継続して使用しております。現金を用意することがなくなった為、大変便利になったと保護者から好評です。 弊社が白岡市学童保育所の運営をさせていただいてから、7年目となりました。学童保育所の拡大により現在では市内の白岡市学童保育所12施設の運営をさせていただいております。 弊社の独自性の強みや地域連携など充実した運営を行い、児童にはより良い生活が送れるよう日々取り組みを行ってまいりました。 弊社が運営をするうえで大切にしているものは、「子どもたちの笑顔」です。子どもたちが心から安心して、「第2の家」で過ごすために何ができるかを常に考え実行してまいりました。 また、保護者の方が安心してお子さまを預けられるようにするにはどうすればいいかも常に考えております。 安心安全をお約束するために、積極的に優良な人材の採用、配置に努め、研修・教育による質の向上と実務を通じた利用者との関わりの中で信頼関係を築いてまいりました。子どもたち・施設・地域を知り尽くしている支援員が継続勤務することで、子どもたちの「安心安全の確保」「学童が楽しい」「学童の先生になりたい」「保護者から感謝のお声をいただく」など、学童保育所での生活を楽しんでいる様子が日常でのコミュニケーションやアンケートからお声を多数いただいております。 保護者の方からの苦情に関しては、事実確認を行い再発防止策の構築や研修などを行い、同様の苦情が発生しないよう取り組みをしてまいりました。事故報告に関しては、連絡・報告漏れを防ぐためフローチャートを作成し、再発防止に努めてまいります。
施設所管課	所管課評価	事業運営や施設の維持管理は適正に行われており良好である。 また、職員の支援員認定資格研修への積極的な参加や社内独自の研修を実施し、資質の向上、人材の育成を図っている。 安全計画や事業継続計画、各種マニュアルを作成し緊急時等への対応に備えた体制を整えている。
	指導事項等	保護者や学校、地域との良好な関係構築に取り組み、より安定的な保育運営を期待する。また、今後も質の高い保育サービスを提供するため、積極的な職員確保を図るとともに、研修等により職員の技量や意識の向上の取組を徹底すること。